

プログラム紹介

誰もが懐かしい 『いつの日か』は、日本人の原風景ともいえる童謡13曲が次々と登場します。＜歌うことで、聴くことで、ささくれ立った人々の心が和らぎ、愛に満ちた平和な心持ちになってくだされば幸いです＞と編曲の源田俊一郎氏。指揮の重松秀子先生も今ではすっかり元気です。ここを込めて歌います。

今歌いたい曲 私たちが「また歌いたい！」と思った中から、コンクールで取り上げたものを除いて、今活躍中の作曲家の作品を厳選しました。震災後、心からの歌を歌いたいと思わせてくれた「つながり（佐藤賢太郎）」、動物たちが次々に現れるアイデア満載の「ありくいながら（上田真樹）」、迷い悩んだときに背中を後押ししてくれるような「自分の一歩（山下祐加）」。どれも個性的な作品です。

5年ぶりの企画ステージ みんなが大好きな「ディズニーの名曲」でまとめました。普段とは少し違った姿をお見せします。やりたかった男声合唱、女声合唱も5年ぶり。映画の世界が広がるでしょうか？（アナと雪の女王、シンデレラ、ライオンキング、アラジンからの予定です）。



名曲を客演ステージで 平成の合唱曲の中にあつて際立つ存在といえる『くちびるに歌を』は、リルケやヘッセなどドイツ語の名詩と日本語の組み合わせによる作品です。＜ドイツ語によってロマンティック音像を導き出し、母国語によって懐深くの情感を呼びさすのがねらい＞と作曲の信長貴富氏。とくに終曲は「くちびるに歌を持って 心に太陽を持って」と語りかけ、多くの人に感動と勇気を与えています。

今回念願叶い、これまで度々指導していただいていた合唱指揮者の浅野深雪先生をお迎えすることができました。先生の指揮でこの名曲を演奏できる喜びを感じ、歌います。

盛りだくさんのプログラムです。お楽しみください！

（常任指揮者 森井 淳）

団員募集！新しい仲間 いつでも歓迎

見学・問い合わせ・日程の確認は
ホームページから！

www.gakuonju.com



速報 「委嘱曲プロジェクト2020」進行中！

2020年度は、楽音樹の委嘱による新しい合唱曲が誕生します。人気作曲家の山下祐加先生によって、美しく、そして心に響く作品が生まれることでしょう。あなたも参加してください！



客演指揮 浅野 深雪

武蔵野音楽大学音楽学部声楽科卒。声楽を川村英司氏、合唱指揮を関屋晋氏に師事。

神奈川・東京で7団体を指揮するほか、全国へ出向き、小学校から一般まで数多くの合唱団を陰で支えている。在住神奈川県藤沢市において、2008年以降藤沢市民交響楽団の記念

演奏会で合唱指揮を担当。また2016年からは伝統ある市民オペラの合唱指揮を任されている。

2011年、2015年NHK全国学校音楽コンクール 小学校の部 課題曲の初演指揮者。日本合唱指揮者協会会員。日本声楽発声学会会員。

客演ピアノ 竹内 佳代

桐朋学園大学ピアノ科卒業。ピアノを大坪亮子、川島伸達、松本清、伴奏法を松本明子の各氏に師事。在学中に第3回中部ショパン学生コンクール大学生部門賞・中日賞受賞。これまで富山・浜松・名古屋でリサイタルを開催。ソロ活動、室内楽、伴奏など幅広い演奏活動を展開。楽音樹の第8回演奏会では、山下祐加作曲のピアノソロ版「七色の風」を初演。



合唱団「楽音樹」（代表 津田 朋信）

2009年1月に結成し、富山市を中心に活動中。年齢もさまざま、皆で成長しながら高みをめざしています。技術的にはまだまだ未熟ですが、「感動」にこだわり、自分たちが曲を愛してベストを尽くします。

これまで、コンサートやコンクール出場の他、校歌や富山県「ふるさとの空」CD録音も行いました。2019年度は国民文化祭・全国障害者芸術文化祭「合唱の祭典」（上越市）にも出演。アマチュアらしく好きなことを求め、いろいろな先生方のご指導を受けながら、刺激を受け成長を続けたいと思っています。打ち上げの「楽音酒（がくおんしゅ）」も盛り上がります！



第1回の演奏会は、震災翌日の2011年3月12日でした。被害情報が錯綜する中、迷いながらの開催でした。多くの方のご支援をいただきながら活動を続け、今回10回を迎えます。

これまでの演奏会には、詩人のゆきやなぎれい先生、作曲家の鈴木憲夫先生や山下祐加先生にもお越しいただきました。また児童合唱との協演も定着しつつあります。

表の絵画：「光のメッセージ」（アクリル水彩画）

ギャラリーオーナメント工房 KoFu

（長野県白馬村在住）

